

「回復できる」伝えよう

リカバリーパレード

アルコールなどの依存症、統合失調症、うつ病の人やその支援者が回復を祝って行進する「リカバリーパレード（回復の祭典）」が、9月から7都市で行われます。6年前に東京で始まって以来、各地に広がってきました。関西、横浜は今年が初の開催です。趣旨に賛同する人なら誰でも参加できます。2014年6月施行のアルコール健康障害対策基本法に基づく政府の基本計画が今年5月31日に閣議決定されるなど、依存症をめぐるさまざまな取り組みが進んでいきます。そこで、6年前からパレードに携わる城間勇さん、アルコール関連問題に詳しい今成知美さんにパレードの持つ意義などを尋ねました。

（福田敏克）

リカバリーパレードの実施予定

開催地	日時	集合場所
横浜	9月10日（土） 午後1時～※	象の鼻パーク （横浜市中区）
広島	9月19日（月・祝） 午後1時～	ハノーバー庭園 （広島市中区）
北九州	9月22日（木・祝） 午前9時半～	あさの汐風公園 （北九州市小倉北区）
東京	9月22日（木・祝） 午前11時～	新宿中央公園 （新宿区）
関西	9月22日（木・祝） 午前11時半～	朝公園 （大阪市西区）
仙台	9月22日（木・祝） 午後0時半～	元鍛冶丁公園 （仙台市青葉区）
沖縄	11月13日（日）	未定

※横浜開催は午後1時～アトラクション、3時～パレード
※変更がありうるので、各地の事務局フェイスブックなどで要確認

【参加方法】
個人参加＝開催日時に集合場所まで。実名を名乗らずニックネームで参加することも可能。アピールしたいことをプラカードなどに書いて持参することもできる
団体参加＝事前に実行委員会まで連絡すること

【問い合わせ】
リカバリーパレード実行委員会
☎045・349・3003、info@recoveryparade-japan.com

依存症者ら7都市で行進



2015年9月に行われたパレードの様相（東京・新宿）



いまなりともみ
今成 知美
NPO法人ASK（アルコール薬物問題全国市民協会）代表

「警察が保護した酩酊者を家族に引きこもる。」「回復できる」を伝える。それが、依存症者らと向き合っていく上で、最も大切なことだ。今成知美さんは、NPO法人ASK（アルコール薬物問題全国市民協会）代表として、依存症者への支援活動に取り組んでいる。その活動の中で、依存症者への理解を深め、社会の包容力を高めることが、回復の鍵になると考えている。

包容力ある社会に

私は市民団体の立場で、渡す際に相談先のパンフ「アルコール健康障害対策」を渡す。アルコール健康障害対策「飲酒運転」の制限（2013年12月）、同法に基づく「飲酒運転」の制限（2013年12月）、同法に基づく「飲酒運転」の制限（2013年12月）、同法に基づく「飲酒運転」の制限（2013年12月）...（以下略）

私は米国でのリカバリーパレードを受け、09年12月、都内にリカバリーパレードの歴史を振り返る。その中で、依存症者への理解を深め、社会の包容力を高めることが、回復の鍵になると考えている。

回復した者の責任

東京・新宿中央公園を起点を第1回リカバリーパレードを行い、約350人が参加した。アルコール、薬物、ギャンブルなどの依存症者、統合失調症、うつ病などを経験した人が「回復」し、希望を持って自分より良くなったことを喜ぶ。回復には、人とのつながりが欠かせない。回復した者は、社会の包容力を高めることに貢献できる。回復した者の責任は、社会の包容力を高めることにある。



しろうま いさむ
城間 勇
障害福祉サービス・生活訓練事業所RDP横浜 施設長